



Doboku information



未来と歴史を巡る日本橋土木ツアー～神田川クルーズと首都高地下化で学ぶ都市の進化～
一般向け 見学会を行いました

- 日時：2025年8月26日(火) ■ 見学時間：13:40～16:30 ■ 参加者：41名
- 協力：首都高速道路株式会社／株式会社東京湾クルージング



東京土木施工管理技士会では、社会資本整備への理解促進を目的として、一般の方々を対象とした土木見学会を開催しています。このイベントを通じ、土木の施設や技術に対する関心を高め、インフラ施設の重要性を感じていただきたいと思います。今回は「未来と歴史を巡る日本橋土木ツアー」と題し、船上と展示スペースでの見学を実施しました。

i 江戸時代の重要インフラ 日本橋川に残る歴史的建造物を見学

残暑厳しい晩夏の午後、日本橋川の船着場「滝の広場」に集合した見学者一同を乗せ、クルーズ船が出発。

日本橋、常盤橋と常磐橋、鎌倉橋などを、その名の由来を解説してもらいながら次々とくぐって船は進む。普段見られない橋の裏側の構造に目を奪われつつ、沿岸に残る石垣に江戸時代のすぐれた土木技術を感じる。当時、重いものを運ぶのに最適だった水運は、重要インフラとして江戸の町とともに発展した。一ツ橋、組橋などを經由して三崎橋を過ぎると神田川に合流、ようやく首都高の高架下を外れ、頭上が開ける。神田川沿いの下町情緒を味わいつつさらに進むと、船は隅田川へ。合流地点からは東京スカイツリーが間近に見え、見学者から歓声が上がった。川幅の広い隅田川では両国大橋・新大橋などの大きな橋を船上から見学、最後は清洲橋越しにスカイツリーを撮影し、再び豊海橋から日本橋川を通過して出発地点に戻り、クルーズは終了となった。



小規模な橋から巨大な橋まで、日本橋川・神田川などに架かる様々な橋を見学

